



平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年8月9日

上場会社名 株式会社ニチリン 上場取引所 東
 コード番号 5184 URL <http://www.nichirin.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 良雄
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 森本 幾雄 TEL 079 (252) 4151
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 平成25年9月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績（平成25年1月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	21,185	8.4	1,369	38.8	1,697	70.5	699	15.4
24年12月期第2四半期	19,541	25.2	986	980.0	995	500.0	605	—

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 2,334百万円 (145.4%) 24年12月期第2四半期 951百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	77.77	—
24年12月期第2四半期	67.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第2四半期	36,187	15,512	35.4	1,423.75
24年12月期	31,026	12,085	35.1	1,211.65

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 12,796百万円 24年12月期 10,890百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	6.00	—	6.00	12.00
25年12月期	—	8.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

3. 平成25年12月期の連結業績予想（平成25年1月1日～平成25年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	14.2	3,000	155.8	3,200	108.3	1,500	105.6	166.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期2Q	9,000,000株	24年12月期	9,000,000株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	12,014株	24年12月期	12,014株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期2Q	8,987,986株	24年12月期2Q	8,988,054株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.2「(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年1月1日～平成25年6月30日）における世界経済は、米国においては、個人消費や住宅・雇用等の経済指標が底堅く推移し、景気は全般的に穏やかなペースで拡大しました。中国においては、輸出の鈍化やシャドーバンキング等の金融問題もあり景気減速懸念が強まっています。アセアン地域においては、経済成長率に鈍化が見られるものの、順調な国内消費に支えられ経済は概ね堅調に推移しました。なお、欧州においては、南欧諸国を中心とした債務問題の再燃もあり、景気後退局面は長期化の傾向にあります。

一方、国内経済は、新政権下での金融緩和をはじめとする経済成長戦略への期待感から、円高是正・株高の進行や米国を中心とした外需の回復などにより企業環境にも明るさが見え、個人消費も継続的な回復が見られ、緩やかに回復しつつあります。

当社グループの主要事業分野である日本自動車業界に関する状況は次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間（平成25年1月1日～平成25年6月30日）における国内自動車各社は、昨年のエコカー補助金終了の影響により国内生産・販売は低迷が続きました。加えて、生産・販売車種は燃費の良い軽自動車・小型車が中心となりました。また、円高が大きく修正されたにもかかわらず、引き続き海外への生産シフトが進みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における国内四輪車販売台数は、前年同四半期比8.0%減の271万台、四輪車輸出台数は前年同四半期比7.7%減の229万台、国内四輪車生産台数は、前年同四半期比10.9%減の467万台となりました。一方、国内乗用車メーカー8社の海外生産台数は、中国市場で減少しましたが、北米市場の回復やアセアン市場において概ね堅調に推移したため、前年同四半期比1.2%増の806万台となりました。なお、国内二輪車メーカーの国内生産台数は前年同四半期比17.1%減の26万台となりました。

このような環境のなか、為替が想定以上の円安となったことにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は21,185百万円（前年同四半期 19,541百万円）、営業利益は1,369百万円（前年同四半期 986百万円）、経常利益は1,697百万円（前年同四半期 995百万円）となりました。四半期純利益は、年金資産消失損453百万円（当社が加入している兵庫ゴム工業厚生年金基金によるAIJ投資顧問㈱の運用で生じた損失の当社負担額）の計上により699百万円（前年同四半期 605百万円）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

① 日本

国内四輪車生産は昨年のエコカー補助金終了の影響により大幅減少しました。加えて、生産は燃費の良い軽自動車、小型車中心となり、中型車以上の車種の海外への生産シフトにより、売上高は13,520百万円（前年同四半期 14,478百万円）となりました。利益面においては、想定以上の円安や固定費の削減効果により、営業利益は413百万円（前年同四半期 362百万円）となりました。

② 北米

自動車市場の回復により、売上高は6,011百万円（前年同四半期 4,272百万円）となり、営業利益は388百万円（前年同四半期 53百万円）と好調に推移しました。

③ 中国

日本車の不買運動や経済成長率の鈍化により、現地通貨での売上高は減少しましたが、円安による為替評価の影響により、売上高は3,863百万円（前年同四半期 3,335百万円）となりました。一方、営業利益は、売上高の減少により255百万円（前年同四半期 337百万円）となりました。

④ アジア

二輪車・四輪車市場が拡大傾向にあり、売上高は3,320百万円（前年同四半期 2,128百万円）、営業利益は555百万円（前年同四半期 271百万円）と好調に推移しました。

⑤ 欧州

新規受注効果もあり、売上高は700百万円（前年同四半期 529百万円）となりましたが、営業損失21百万円（前年同四半期は営業損失 35百万円）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

日本の自動車業界は、円高是正の局面が続くことで、昨年のエコカー補助金終了に伴う反動減はあるものの、個人消費の回復により、国内生産は持ち直しが期待されております。海外においては、欧州・中国市場は苦戦しておりますが、堅調な北米市場や拡大を続けるアセアン市場は、引き続き好調を維持しております。

このような環境下、通期の連結業績予想を次のとおり修正しております。

なお、下期の為替レートについては、上期の実勢レート、また、現在の状況を踏まえ、1US\$=95円、1€=125円としております。

環境変化に対してスピード感をもって、グループ全体での競争力向上および利益基盤の強化に取り組むことで、より一層の利益獲得を図ってまいります。

連結売上高	43,000百万円（前期 37,652百万円）
連結営業利益	3,000百万円（前期 1,172百万円）
連結経常利益	3,200百万円（前期 1,536百万円）
連結当期純利益	1,500百万円（前期 729百万円）

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

（退職給付引当金に係る会計上の見積りの変更）

当社が加入する複数事業主制度の「兵庫ゴム工業厚生年金基金」は、年金資産の一部について、投資一任契約のもとAIJ投資顧問㈱での運用を実施しており、これまで、同基金よりその大半が毀損しているとの報告はありましたが、同基金から当該投資損失額の正式報告はなく、また加入企業の負担割合も決まっておりました。

当第2四半期連結会計期間において、平成25年6月26日に、同基金から当該投資損失額および当社の負担割合の通知があり、当該年金資産の消失に係る当社負担額が確定しました。

これにより、当第2四半期連結会計期間において、当該年金資産の消失に係る損失額 453,684千円（特別損失）を退職給付引当金として一括計上しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,683,909	6,890,568
受取手形及び売掛金	6,344,780	8,138,288
電子記録債権	165,071	120,093
商品及び製品	1,695,221	1,504,566
仕掛品	2,231,790	1,936,237
原材料及び貯蔵品	1,133,040	1,408,058
繰延税金資産	180,372	292,492
デリバティブ債権	—	7,044
その他	1,237,631	1,064,081
貸倒引当金	△51,084	△70,687
流動資産合計	16,620,733	21,290,744
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,819,322	7,257,787
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,418,551	△4,578,661
建物及び構築物（純額）	2,400,770	2,679,125
機械装置及び運搬具	13,855,262	15,203,028
減価償却累計額	△10,586,375	△11,396,325
機械装置及び運搬具（純額）	3,268,886	3,806,702
土地	3,633,920	3,664,746
建設仮勘定	308,412	333,974
その他	2,466,066	2,769,408
減価償却累計額	△2,281,570	△2,390,430
その他（純額）	184,495	378,977
有形固定資産合計	9,796,485	10,863,528
無形固定資産		
のれん	1,962	1,449
その他	173,824	188,605
無形固定資産合計	175,787	190,055
投資その他の資産		
投資有価証券	3,379,588	3,031,212
繰延税金資産	419,896	178,137
その他	645,985	645,615
貸倒引当金	△11,740	△11,740
投資その他の資産合計	4,433,730	3,843,225
固定資産合計	14,406,003	14,896,808
資産合計	31,026,736	36,187,552

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,375,449	4,534,404
電子記録債務	965,216	3,300,641
短期借入金	466,514	374,588
1年内返済予定の長期借入金	1,684,063	1,720,212
未払法人税等	72,432	258,970
賞与引当金	74,321	168,557
デリバティブ債務	41,980	7,170
その他	1,471,152	1,839,563
流動負債合計	11,151,130	12,204,110
固定負債		
長期借入金	3,008,767	3,343,956
再評価に係る繰延税金負債	959,448	959,448
繰延税金負債	53,272	77,795
退職給付引当金	3,233,002	3,623,373
役員退職慰労引当金	178,840	162,740
負ののれん	866	0
その他	356,057	303,173
固定負債合計	7,790,256	8,470,487
負債合計	18,941,387	20,674,598
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,729,000	1,729,000
資本剰余金	1,655,608	1,655,608
利益剰余金	6,311,892	6,956,991
自己株式	△6,536	△6,536
株主資本合計	9,689,963	10,335,062
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	831,800	1,024,902
土地再評価差額金	1,735,632	1,735,632
為替換算調整勘定	△1,367,091	△298,904
その他の包括利益累計額合計	1,200,341	2,461,630
少数株主持分	1,195,044	2,716,260
純資産合計	12,085,349	15,512,954
負債純資産合計	31,026,736	36,187,552

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	19,541,057	21,185,082
売上原価	16,369,422	17,476,893
売上総利益	3,171,635	3,708,189
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	637,695	641,468
貸倒引当金繰入額	△54	17,176
役員報酬	116,399	118,493
役員退職慰労引当金繰入額	14,758	15,816
給料及び手当	608,775	660,127
賞与引当金繰入額	41,562	67,657
退職給付費用	32,026	35,586
法定福利費	93,395	105,988
旅費及び交通費	68,052	86,676
租税公課	47,825	44,261
賃借料	61,185	65,938
減価償却費	38,821	45,178
のれん償却額	646	543
その他	424,234	434,181
販売費及び一般管理費合計	2,185,325	2,339,095
営業利益	986,310	1,369,093
営業外収益		
受取利息	4,903	2,907
受取配当金	17,408	22,830
為替差益	16,807	239,098
負ののれん償却額	1,880	866
持分法による投資利益	6,113	86,346
助成金収入	2,861	5,897
その他	34,426	43,305
営業外収益合計	84,400	401,251
営業外費用		
支払利息	49,847	41,856
貸倒引当金繰入額	5,500	—
その他	19,752	30,737
営業外費用合計	75,099	72,594
経常利益	995,611	1,697,749

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
特別利益		
固定資産売却益	1,254	38,828
投資有価証券売却益	—	26,236
負ののれん発生益	—	160,595
特別利益合計	1,254	225,660
特別損失		
固定資産売却損	8	397
固定資産除却損	3,529	15,802
段階取得に係る差損	—	82,145
年金資産消失損	—	453,684
特別損失合計	3,538	552,029
税金等調整前四半期純利益	993,328	1,371,381
法人税、住民税及び事業税	204,009	405,402
法人税等調整額	46,622	62,900
法人税等合計	250,631	468,303
少数株主損益調整前四半期純利益	742,696	903,078
少数株主利益	137,044	204,051
四半期純利益	605,651	699,026

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	742,696	903,078
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	123,732	193,102
為替換算調整勘定	76,991	1,114,536
持分法適用会社に対する持分相当額	7,911	123,861
その他の包括利益合計	208,634	1,431,500
四半期包括利益	951,331	2,334,578
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	812,015	1,960,316
少数株主に係る四半期包括利益	139,315	374,262

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間（自平成24年1月1日 至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	中国	アジア	欧州			
売上高								
外部顧客への売上高	10,631,105	4,270,844	2,268,553	1,840,979	529,573	19,541,057	—	19,541,057
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	3,847,810	1,823	1,066,819	287,504	—	5,203,958	△5,203,958	—
計	14,478,915	4,272,668	3,335,373	2,128,484	529,573	24,745,015	△5,203,958	19,541,057
セグメント利益又は 損失 (△)	362,973	53,203	337,458	271,334	△35,493	989,475	△3,165	986,310

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△3,165千円には、セグメント間の未実現損益△3,248千円等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成25年1月1日 至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	中国	アジア	欧州			
売上高								
外部顧客への売上高	8,917,753	6,011,739	2,605,733	2,949,634	700,222	21,185,082	—	21,185,082
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	4,602,431	4	1,257,951	370,695	77	6,231,160	△6,231,160	—
計	13,520,184	6,011,743	3,863,684	3,320,330	700,299	27,416,242	△6,231,160	21,185,082
セグメント利益又は 損失 (△)	413,168	388,207	255,735	555,848	△21,786	1,591,172	△222,079	1,369,093

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△222,079千円には、セグメント間の未実現損益△221,933千円等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。